

校長講話 1

令和5年 4月6日（木） 始業式

校長 野尻 史子

おはようございます。

春休み中に桜の花が満開になり、もう花は散ってしまいましたね。でも、花の後のサクラやバラの枝には、小さな若葉が芽吹いているのが、始業式にふさわしく、とてもきれいで清々しいなあ、と感じられます。

新しい学年、クラスでの新しい学校生活が、これから始まります。昨日は、一日早く6年生だけが登校して、今日からの新学期の準備で、教室の掃除などの仕事をしてくれました。6年生は、自分たちの教室だけ掃除して帰ったわけではありません。皆さんのが新しい学年の教室で気持ちよく生活を始められるように、校内のあちこちで掃除をしたり、荷物を運んだりしてくれました。このあと入学式の準備も手伝ってくれました。ありがたいことですね。

6年生だけでなく、先生方も主事さんも、今日から始まる新学期の準備に、春休み中もたくさんの方をしてくださいました。

そうやって、いつも皆さんの学校生活を支えてくださっている方々がたくさんいることをしっかり知った上で、学校でのルールやマナーを守って生活しましょう。

そして、お世話になっている皆さんに、感謝の気持ちをもって、態度で示すことができたらいいですね。「ありがとうございます」「おはようございます」「さようなら」「よろしくお願いします」など、お礼の言葉やあいさつをしっかりしてほしいと思います。

気持ちのよい一日は、気持ちのよいあいさつや丁寧な言葉遣いから始まります。

岩淵小の合い言葉の「い」は、「いいあいさつ いいへんじ」です。

気持ちのいいあいさつやお礼の言葉が、いつも自然に口から出るようになるとすてきですね。

そして、「相手を見て、いつも自分から、先にあいさつ、続けて礼」

「先言後礼」のことですね。

今年は、まず、「あいさつのできる岩淵の子」を全校の目標にします。元気で気持ちのよいあいさつを心がけて生活しましょう。

皆さんも、自分の目標をしっかりとと考え、1学期、1年間、がんばって過ごしましょう。これで お話を終わります。